

行政報告

農作物の生育状況等について

今年は春先から平均気温が平年より高く推移し、また、適度な降雨もあり、各作物とも順調な生育状況であった。

その後、6月から7月下旬まで、高温少雨のため乾燥条件が続いていたが、8月上旬には前線の影響により降水量は平均並みとなり、各作物とも回復傾向となった。

主な作物の生育等は収穫作業が順調に終了した秋まき小麦については、成熟期も平年より早まり、6月下旬の降雨と強風により一部で倒伏がみられたが、その後は好天に恵まれ収穫作業は平年より早く終了している。10アール当り粗麦収量は平均10・1俵、春まき小麦は平均8・7俵となっており、平均よりやや良となった。

てん菜については茎葉の生育は平年よりやや緩慢に推移し、根部の肥大は平年並みではあるが、褐斑病が例年より早い発生が確認されており、引き続き注意が必要である。

馬鈴薯については、萌芽期は平年よりやや早まり、高温少雨のため茎長の伸長は抑制されている。収穫物は平年と比べ、上いも数が少なく、一個が重く、澱粉価は平均並みとなっている。

大豆と小豆については、開花期は平年より早く、茎長の伸長は抑制され、生育が進んでいるため、平年より着莢数は多くなっている。

にんにくについては、収穫作業は7月上旬に順調に終了したが、降雪不足と凍結の影響により、収量は昨年度より減少となっている。

次に、飼料作物については、収穫は平年より早く始まり、その後の天候

にも恵まれ、収穫は昨年より5日早く終了し、収量も平年より多く、良質な牧草が確保されている。

また、2番草の生育は高温少雨で推移し、収穫作業は昨年より4日早く始まったものの、出穂、開花が早まり、収量は平年より少なめとなっている。

サイレージ用とうもろこしは、発芽は平年より早く出芽揃いが良好であり、雌穂の登熟も進んでおり、糊熟期は8月23日、黄熟期は9月初旬となり、収穫期も早まる見込みである。

補正予算

一般会計補正予算(第3号)

既定予算に3億679万6千2百円を追加し、予算総額を92億479万5千円とする。

主な増額補正は、住宅

借入金等特別税額控除減収補填特例交付金・定額減税減収補填特例交付金・普通交付税・児童手当負担金・子ども・子育て支援事業費補助金・過年度分低所得者保険料軽減事業負担金・持続的畑作生産体制確立緊急支援事業補助金・出資配当金・特定寄付金・地方創生活用事業寄付金(企業版ふるさと納税)・前年度繰越金・除雪機械購入事業・地域活性化交流施設整備事業・いきいきふるさとづくり基金積立金・個人住民税システム改修業務委託料・町長選挙郵便物負担金・高齢者世帯等生活支援給付金・国庫道費負担金返還金(自立支援給付事業・障害者支援事業・子育て支援事業・育成医療費給付事業・養育医療費給付事業)・国庫道費補助金返還金(子育て支援事業・保健予防事業)・国庫道費委託金返還金(児童療育支援費)・帯広厚

生病院運営委費補助金・地域活性化商品券事業補助金・車両修繕料(スクールバス)・財政調整基金積立金・減債基金積立金・公共施設建設等基金積立金・北海道市町村備荒資金組合納付金など

【全員賛成で可決】

一般会計補正予算(第4号)

既定予算に797万円を追加し、予算総額を92億5596万5千円とする。

主な増額補正は、廃屋解体撤去事業補助金・文化センター蒸気ボイラー改修工事

【全員賛成で可決】

国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

【全員賛成で可決】

介護保険特別会計補正予算(第2号)

【全員賛成で可決】

専決処分

水道事業会計補正予算(第2号)

収益的支出に水質検査手数料を追加するもの
【承認】

人事案件

▼教育員会教育長の任命

山下勇さん（有明）を教育員会教育長に任命（再）したい旨の町長提案があり、議会は同意しました。



山下 勇 さん

▼教育員会委員の任命

佐藤朱美さん（有明）を教育員会委員に任命したい旨の町長提案があり、議会は同意しました。



佐藤 朱美 さん

▼農業委員会委員の選任

口田靖明さん（郷愛）を農業委員会委員に任命したい旨の町長提案があり、議会は同意しました。



口田 靖明 さん

意見書

▼改正食料・農業・農村基本法の実効性確保等に関する意見書

【全員賛成で可決・各関係機関に送付】

▼義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障実現に向けた意見書

【全員賛成で可決・各関係機関に送付】

【全員賛成で可決・各関係機関に送付】

▼道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直し全ての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

【全員賛成で可決・各関係機関に送付】

▼国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

【全員賛成で可決・各関係機関に送付】

▼道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直し全ての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

請願・陳情審査の結果

9月定例会前に受理した町民からの請願は1件、陳情2件でした。
常任委員会に審査を付託した結果、次のとおり決定しました。

件 名	提 出 者	審査委員会	委員会結果	本会議での結果と措置
改正食料・農業・農村基本法の実効性確保等に関する請願	清水町農民連盟 執行委員長 高田 秀昭	総務産業	採 択	採 択 意見書を提出
義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた陳情	日本労働組合総連合会北海道連合会 清水地区連合会 会長 佐々木 隆徳	厚生文教	採 択	採 択 意見書を提出
道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める陳情	日本労働組合総連合会北海道連合会 清水地区連合会 会長 佐々木 隆徳	厚生文教	採 択	採 択 意見書を提出

意見書の内容（一部抜粋）

▼改正食料・農業・農村基本法の実効性確保等に関する意見書

改正基本法に基づく次期基本計画の改定にあたっては、食料安全保障の強化に向けて農業予算を拡充するとともに、国内農業生産の増大を図る意欲的な目標値を設定し、年一回の目標達成の状況調査・公表のみならず、未達成品目の実効性を確保する具体的な施策を講ずるなど食料自給率の向上に努めること。

適正な価格形成について、生産現場が求めるコスト上昇分を価格転嫁した場合、消費減退などを招くことや、最終的な価格は当事者間の交渉に委ねるとしていることから、一方的に消費者へ負担させるのではなく、生産コストを賄えない恒常的な赤字分については再生産を可能とする所得補償制度を導入すること。

▼義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と修学保障の実現に向けた意見書

国の責務である教育の機会均等・水準の最低保障を担保するため、義務教育費を無償とするよう求める。少なくとも、義務教育費国庫負担制度を堅持し、当面、義務教育費国庫負担金の負担率を2分の1に復元されるよう要請する。

「30人以下学級」の早期実現にむけて、小学校1年生・中学校3年生の学級編制標準を順次改定するよう求める。当面、中学・高校への「35人以下学級」拡大を求める。また、地域の特性にあった教育環境整備・教育活動の推進、住む地域に関係なく子どもたちの教育を保障するため、計画的な教職員定数改善による

実質的な教職員増の早期実現、教頭・養護教諭・事務職員の全校配置の実現のため、必要な予算の確保・拡充をはかるよう要請する。

就学援助制度・奨学金制度の更なる拡大、高校授業無償化に対する所得制限の撤廃など、就学保障の充実に向け、国の責任において予算の十分な確保、拡充を図るよう要請する。



▼道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直し全ての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

道教委「これからの高校づくりに関する指針（改定版）」を見直し、地域の教育や文化、経済や産業など地域の衰退を招かないため、少人数でも運営できる学校形態を確立し地域の高校を存続させること。

教育の機会均等と子どもの学習権を保障するため、「遠距離通学費等補助制度」の5年間の年限を撤廃すること。

しょうがいのある・なしにかかわらず、希望する全ての子どもが地元の高校で学ぶことのできる後期中等教育を保障するため、「地域合同総合高校」の設置など、豊かな高等教育を実現するため検討をすすめること。

▼国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の推進はもとより、その後も切れ目なく継続的・安定的に取り組を進めるため、国土強靱化実施中期計画を令和6年内の早期に策定し、必要な予算・財源を別枠で確保すること。

人流、物流の活性化に向けた高規格道路におけるミッシングリンクの解消や、高規格道路と直轄国道の連携によるダブルネットワークの構築、暫定2車線区間の4車線化や耐震補強等の機能強化など、国土強靱化に資する災害に強い道路ネットワーク整備を推進すること。

※北海道町村議会議長会からの要請に基づく意見書の提出